

(株)東芝 大分工場 サイトレポート情報

所在地 : 大分県大分市大字松岡3500番地

敷地面積 : 383,000m²、建家面積 : 247,000m²、緑化率22.1%

設立 : 1970年7月、従業員 : 2,200人 (2011年3月末現在)

主要製品 : SoC (System on Chip), Image Sensor, MCU, LCD-D, 標準Logic

ISO14001認証取得 : 1996年10月

セミコンダクター社グループ統合認証取得 : 2007年8月、最新更新年月 : 2010年8月

ISO14001認証番号 : EC98J2014



ごあいさつ

(株)東芝大分工場は、松岡地区の恵まれた自然環境の下、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つと位置づけ、生産活動より発生する環境負荷の低減はもちろん、調達、流通から製造、廃棄に至るまで一貫して環境保全に配慮した取組みを行っています。“この地球は、我々が次世代からお借りしているもの”との発想に立ち、健全な状態で次世代へお返ししていく責任を全従業員が認識し環境保全に取り組んでいます。



環境保全責任者 安部 仁則

2010年度の環境の主な取組み

☆化学物質排出量の削減 (目標達成)

薬品のライフアップ等を実施し、化学物質(VPE物質)排出量: 104.3トン(目標値: 121.0トン以下, 達成度116%)

☆温室効果ガス排出量の削減 (目標達成)

温室効果ガス削減対策により、排出量: 124GWP千トン(目標値: 129GWP千トン, 達成度104%)

☆CO₂削減量の積上げ (目標達成)

省エネ施策により、CO₂(エネルギー起源)削減: 2,919トン-CO₂削減(目標値: 2,861トン-CO₂削減, 達成度102%)

☆廃棄物ゼロエミッションの継続 (目標達成)

廃棄物ゼロエミッション(最終処分率): 0.08%(目標0.1%以下)

☆水資源受入量の削減(目標達成)

純水等の削減を実施し、9,174千m³受入(目標値: 9,594千m³以下, 達成度104%)

☆資材取引先に関する環境配慮

取引先に指導・支援(新規取引先23社)、廃棄物処理委託先現地確認(15社)

☆全員参加・啓発活動の展開

ホトキ(広報誌)の発行、社内講演会実施、廃棄物業者への見学会実施、グリーンカーテン活動実施、省エネパトロール実施

☆地域との協調

社内見学、小学校環境出前授業実施、エコチャリティバザー(収益金は環境ボランティア団体へ寄付)

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

製品では、消費電力が低く長寿命な次世代ロジックなど、環境にやさしい製品の提供を目指しています。そのため、製品を使用する立場に立ち、消費電力や使用後の廃棄を考えた製品アセスメントを行っています。また、製品の製造過程においても、環境配慮技術を駆使し、投入や排出の抑制を行っています。

環境コミュニケーションの紹介

☆環境報告書の発行 : 2006年度より毎年継続発行

☆地域住民の理解と共存を求め、各種イベントを実施

出前授業(参加型の実験実施)



自治会見学会



エコチャリティバザー



市民見学会



株式会社東芝 セミコンダクター社 大分工場 環境方針

— 理 念 —

大分工場は、東芝グループの環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

— 方 針 —

大分工場は、東に全国有数の清流大野川、西に市民の集うサッカースタジアムに囲まれた場所に立地し、この豊かな環境に配慮することが私達の使命であると考えます。

「地球は先祖から受け継いだものではなく、子孫からお借りしているものである」との発想に立ち健全な状態で次世代へ返していくために、環境保全への取り組みを工場経営の最重要課題の一つと位置づけます。

調達から製造、廃棄に至るまで、サステナビリティ(事業継続)の観点による省エネ・省資源の実践、および調達品にも環境配慮したシステムL S I製品の提供により社会に貢献するよう努めていきます。

- (1)環境活動レベルの向上を図るため、事業活動、製品及びサービスにかかわる環境側面について生物多様性を含む環境への影響を評価し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を設定し継続的改善及び汚染の予防に全員で取り組みます。
- (2)法令、協定、当工場が同意したその他の要求事項及び自主管理基準など当工場の環境側面に適用可能な事項を遵守します。
- (3)環境保全活動を推進するため、従業員並びに常駐会社が活動できる体制を整備します。
- (4)当工場は積極的に以下の項目について推進します。
 - ①温室効果ガスの排出量削減
 - ②廃棄物の排出量削減
 - ③化学物質の使用量及び排出量削減
 - ④水資源受入量の削減
 - ⑤環境負荷低減によるコスト削減
 - ⑥資源の有効利用
 - ⑦生物多様性活動の推進
 - ⑧環境保全意識の向上
 - ⑨地域との環境コミュニケーション
- (5)各職場の本来業務に直結した環境保全活動を推進します。
- (6)方針の達成のため、当敷地内で働く全ての人、及び取引先へも周知して理解と協力を要請します。



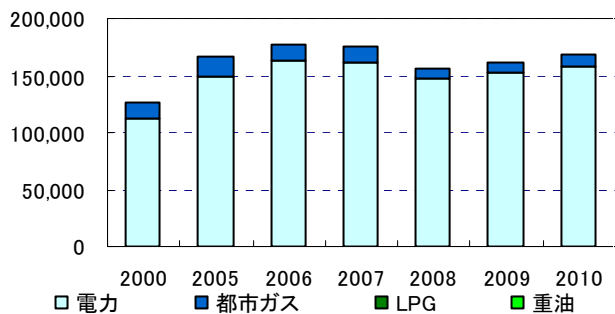
2011年4月1日
大分工場長 安部仁則



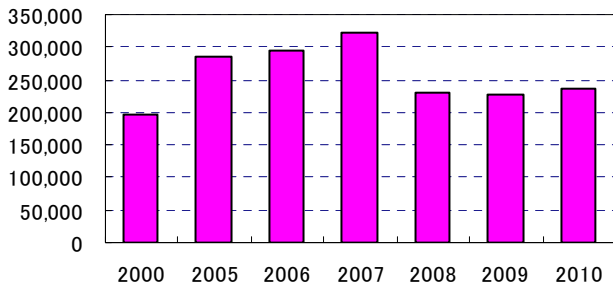
この方針は、当敷地内で働く全従業員及び組織のために働く全ての人、並びに一般の人にも開示します。

環境負荷データ

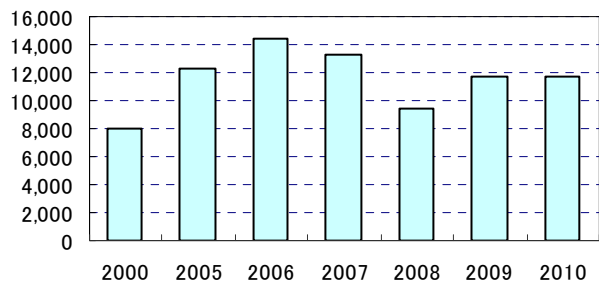
エネルギー使用量(単位:kL)



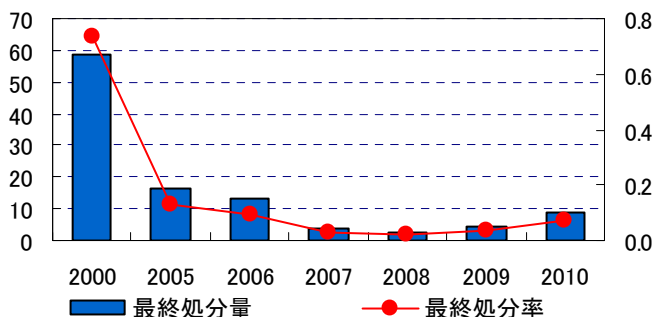
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

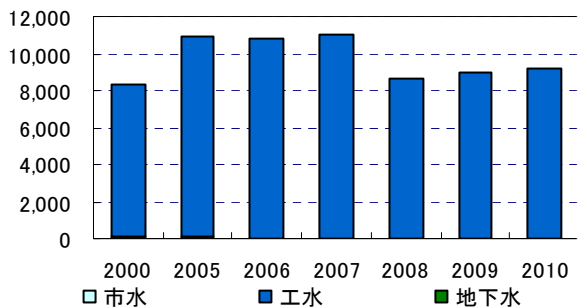


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

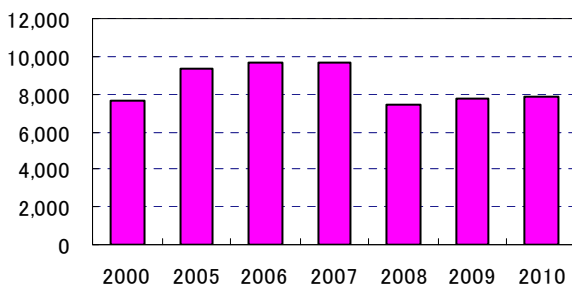


主な廃棄物名: 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ等

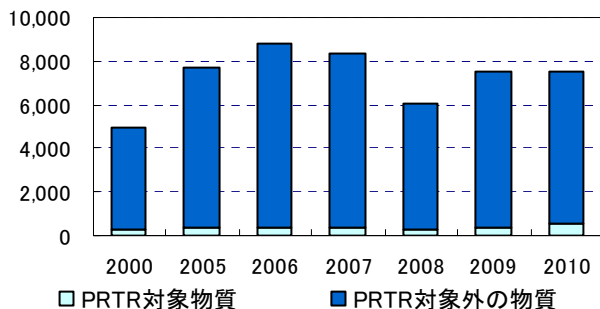
水の使用量(単位:千m³)



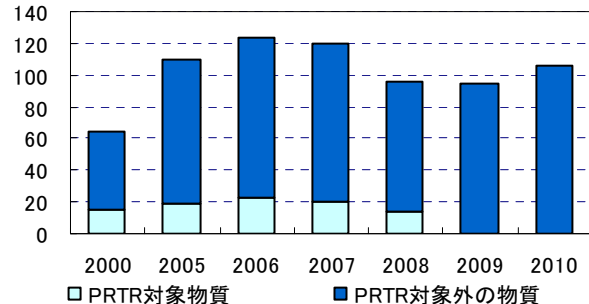
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: 硫酸、塩酸、消石灰、過酸化水素、フッ酸等

遵法管理状況

＜大気測定結果＞（水管ボイラー、貫流ボイラー）（都市ガス使用）16台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NO _x (Nm ³ /h)	6.6（協定値）	4.8	1.1	2回/年
SO _x (Nm ³ /h)	2.2（協定値）	0.037	0.002	2回/年
ばいじん(kg/h)	0.6（協定値）	0.4	0.01	1回/年

＜排水測定結果＞（酸又はアルカリ表面処理施設、排ガス洗浄施設）、河川（北鼻川～乙津川）へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6（協定値）	6.2～8.2	6.5～7.2	2回/週
BOD(mg/L)	6（協定値）	3.0	1.9	1回/週
COD(mg/L)	6（協定値）	3.2	2.2	2回/週
SS(mg/L)	9（協定値）	4.0	3.6	1回/週
窒素(mg/L)	14（協定値）	7.3	5.1	2回/週
フッ素(mg/L)	7.5（協定値）	4.0	3.3	2回/週

＜騒音・振動測定結果＞（特定施設（騒音（送風機、圧縮機）、振動（圧縮機）））

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	60(騒音規制法)	56	52	6回/年
	敷地境界:夜	50(騒音規制法)	49	49	6回/年
振動(dB)	敷地境界:昼	60(振動規制法)	45	30未満	1回/年
	敷地境界:夜	55(振動規制法)	45	30未満	1回/年

＜その他測定結果＞（下水道法:主な測定結果）

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	該当なし	—	—	—
BOD(mg/L)	該当なし	—	—	—
SS(mg/L)	該当なし	—	—	—

＜環境事故・指導指摘・苦情の有無＞

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし